

平成23年度町消防団入退団式での入場行進  
(4月3日・本川根小学校グラウンドにて)



# かわねほんちょう 議会だより

第22号

平成23年5月発行

発行 / 川根本町議会  
編集 / 議会だより  
編集委員会

## \* も く じ \*

予算特別委員会報告	2~3
3月定例会議案関係ほか	4~5
一般質問	6~13
議会日誌・編集後記	14

# 委員会

～ 3月11日まで



3月議会は2日から16日まで15日間開かれ、初日は議案11件が可決されました。

予算特別委員会に付託された平成23年度予算審査を抜粋して報告します。

委員会は4日から始まり、最終日11日は午前中現地調査を行いました。資料館やまびこ接岨峡温泉会館、長島ダムふれあい館、創造と生きがいの湯、福祉センターの視察を行い、現地調査後、全予算の採決を行いました。委員会は、付託された7議案を可決しました。

行政当局には、審査で出された意見等を踏まえて、今後の町政運営に当たられますよう、切に要望いたします。

## 生涯学習課

社会教育総務費  
・消耗品の増額理由について(149万円)は、

赤石太鼓の法被代(70着分)。

・中学生海外英語研修に参加した生徒の割合は30%である。

・やまびこ資料館は地元の人達と話し合い将来像を考え、地元で盛り上げるような活用法を検討するよう意見があった。

## 文化会館運営費

・自主事業・パートナー業務について、委員から事業が丸投げになることが心配されるので町民の要望を聞いて事業を進めるよう要望があった。

海洋センター運営費  
・Eポート購入(150万円)に誰が指導するか? 臨時職員を増員するとの説明があった。

## 総務課

庁舎管理費の光熱水費66万9千円について太陽光による還元状況はの質問に、本庁舎分

は売電までいかない状況。総合支所は月3千円程度の売電との説明があった。

山村開発センター等運営費

・光熱水費(227万6千円)が総合支所(150万円)より多いとの質問があり、夜間使用が多いためであるとの説明があった。

## 非常備消防費

・備品購入費(1千579万9千円)に質問があり、6分団1部、7分団3部に積載車を購入するとの説明があった。

## 議会事務局

・議員共済制度の廃止による負担金増額2千439万4千円、負担率はの質問に、88.5%であると説明があった。

## 生活健康課

・住基ネット利用者数について質問があり、全体で1千61名と説明

があった。

・住基システム改修業務委託料(1千500万円)について質問があり、住基システム独自開発と出入国管理システムとの関係であるとの説明があった。

## 健康増進費

・健康増進計画、食育推進計画(341万3千円)について質問があり、独立した計画であるが一つにして策定するとの説明があった。

## 建設課

・林道費の町単独事業(1千122万4千円)が多いがとの質問に、補助対象外の部分と100万から200万の事業を町単独でとの説明があった。

・小規模修繕業務費1千500万円)に質問があり、50万以上の事業が対象となる。

## 出納室

・地域振興基金(元金

1億円)ユーロ債に質問があり、平成49年満期で昨年6月に61万3千954円と12月に104万693円利子がついた。金利に変動があるとの説明があった。

## 企画課

・総合計画審議会委員報酬(58万8千円)に質問があり、回数は6回30人予定、公募を取り入れると説明があった。

・総合計画策定業務委託料(550万2千円)に役場でできないかとの質問があり、県へ提出もありできない。予算の範囲で行うとの説明があった。

・まちづくり事業の縁結び事業参加者宿泊助成金16万円で農家に泊めてはと質問があり、すでに農家に宿泊している人もあるが、旅館に宿泊し利益を上げることとも考えているとの説明があった。



### 環境企画費

- ・クリーンエネルギー機器導入促進事業費補助金（1千万円）について質問があり、太陽光20基、エコキュート17基、ガス給湯基5基との説明があった。

- ・情報政策費の自主共聴補助金（1千万円）について質問があり、

まだ地デジ対応していない組合への補助金で500万円は国の補助金であると説明があった。

- ・路線バス対策費で大間地区は町営バスもスクールバスも乗り入れがないがと質問があり、大鉄バスを利用し遠距離通学助成、公共交通運賃助成（127万8千円）を行っている」と説明があった。

### 商工観光課

- ・ダム水源地域振興費、長島ダムふれあい館547万8千円）について質問があり、23年度は町

が借りて管理を行い、緊急雇用対策の費用を賃金にあてると説明があった。

- ・観光費、登山道整備事業（498万7千円）に質問あり、大札山、山犬

段、板取、沢口山のルートで看板設置と歩道整備との説明があった。

- ・茶茗館等運営費の土地借上料（113万6千円）の契約単価見直しの要望に対し、総務課と協議検討するとの回答があった。

### 福祉課

- ・社会福祉総務費の福祉センター管理委託料（39万2千円）の100万円の減額理由に質問があり、繰り越しや内容精査によるものである」と説明があった。

- ・子育て支援対策費の放課後児童クラブ（686万5千円）の160万の予算増額に質問があり、

現在本川根地区10人、

中川根地区20人が利用しており、中川根地区の世話人を一名増員する為の増額であると説明があった。

### 産業課

- ・茶業振興協議会につ

いて、会長が町長で事務局が行政では適当でないとの質問に今後検討するとの回答があった。

- ・農林業センター運営費、機械器具借上料、137万5千円）は何かとの質問に、製茶機械のリース代であると説明があった。

- ・茶の収益（茶売払収入134万円）が少ないではないかとの質問に、売り上げが目的ではない、凍霜害もあったとの説明があった。

の説明があった。

### 教育総務課

- ・教育長不在について意見があり、1日も早く置きたく、6月定例会には上げたいとの発

言があった。

- ・私立幼稚園經常運営費補助金（300万円）の上限額は必要かとの質問があり、さゆり幼稚園とは今までも協議してきたとの説明があった。

これに対し、運営を守る為にも見直しが必要と多数の意見が出された。

- ・南部小の複式学級体制について質問があり、複式には担任に補助講師1名（臨時雇賃金98万9千円）をつけて対応すると説明があった。

- ・学校給食施設費で、給食費の未納状況について質問があり、21年度は累積で150万円位と説明があった。

### 特別会計

国民健康保険事業

- ・賦課徴収費の電算事務委託料の減額はシステム改修によるものとの説明があった。

- ・国保税率の引き上げ

について意見があり、

これに対し町長より、基本的に引き上げないが状況をみて判断すると回答があった。

簡易水道事業

- ・水道維持管理委託1千720万円）の業務内容について質問があり、

日常の施設点検、浄水場、水源、メーター器等の取り扱い、交換、取水業務であるとの説明があった。



3月11日の現地調査では担当課からの説明を受けました（写真は資料館やまびこ）

# 3月議会で承認された 補正予算について

3月議会では初日に5件の  
補正予算が可決されました。

平成22年度一般会計  
補正予算(第4号)

## 主な補正内容

増額  
1億8千370万4千円

減額  
7千263万1千円

差引補正額  
1億1千107万3千円

補正後の総額  
58億9千958万9千円

緑越明許費(23年度に  
繰り越される事業費)  
2億4千万円

情報通信基盤整備事  
業  
4千3百万円

さめ細かな交付金  
事業  
1億4千500万円

住民生活に光をそそ  
ぐ交付金事業  
1千800万円

町道維持補修事業な  
ど(土木関係)  
3千400万円

地域活性化交付金のき  
め細かな交付金事業

農林業センターのT  
I GAP対応改修工事

林道寸又線改良工事  
千頭温泉ポンプ改修  
工事

不動産の滝遊歩道改修  
工事費の追加

総合的自死予防事業  
より施設の改修費と  
委託料

町営住宅高郷団地・  
桑野山団地・大島団  
地等の外壁塗装、屋  
根改修等の工事

小中学校の空調設備  
工事費

住民生活に光をそそぐ  
交付金事業

小中学校の図書室へ  
の図書購入費

図書ネットワークシ

STEM改良更新事業等

平成22年度国民健康  
保険事業特別会計

補正額  
151万4千円の追加

補正後の総額  
9億8千943万2千円

国保連合会の共同処理  
システムの新しいシステム  
移行経費分担金と平成  
21年度の特定期検診等の  
実績に伴う返還金です。

平成22年度介護保険  
事業特別会計

補正額  
329万3千円の追加

補正後の総額  
10億2千590万円

現在までの給付実績  
に基づき、今後の必要  
額と財源について精査  
し増額補正を行うもの  
です。

平成22年度簡易水道  
事業特別会計

補正額  
440万円の追加

補正後の総額  
3億1千890万円

地名簡易水道施  
設整備事業にかか  
る財源更正ときめ  
細かな交付金事業  
(ろ過機塗装、配  
水池フェンス設置  
等の浄水場施設維  
持修繕工事)の追  
加です。

平成22年度温泉  
事業特別会計

補正額  
4千220万4千円

補正後の総額  
8千667万8千円

平成22年1月に  
故障した千頭温泉  
について調査検討  
を踏まえた改修工  
事費の追加と接岨  
峡温泉ポンプ改修  
工事の減額です。

平成22年度簡易水道  
事業特別会計

補正額  
440万円の追加

補正後の総額  
3億1千890万円



議 件 名	採決結果	中野 暉	太田 侑孝	山本 信之	中田 隆幸	小藪侃一郎	原田 全修	森 照信	市川 昌美	鈴木多津枝	高畑 雅一	板谷 信
川根本町集落センター等負担金徴収条例の一部改正	全											-
川根本町国民健康保険条例の一部改正	全											-
川根本町営住宅管理条例の一部改正	全											-
川根本町若者定住促進住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正	全											-
平成22年度川根本町一般会計補正予算(第4号)	多					×	×		×	×		-
平成22年度川根本町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	全											-
平成22年度川根本町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	全											-
平成22年度川根本町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	全											-
平成22年度川根本町温泉事業特別会計補正予算(第3号)	多									×		-
平成22年度地名簡易水道施設整備工事(変更)	全											-
駿遠学園管理組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更	全											-

全:賛成全員 多:賛成多数 (可決・採決) :賛成 ×:反対

板谷信議員は議長のため採決に加わっていない

## 議 第 1 号

# 「東日本大震災支援」に関する決議

静岡県川根本町議会議員一同は、この度東北・関東地方で発生した東日本大震災で犠牲となられたすべての方々に心より哀悼の意を表します。

被災された方々が1日も早く復興されることを心より願い、町をあげて支援することに努めます。

以上、決議する。

平成23年3月16日



静岡県川根本町議会

## 議員提出議案

3月定例会最終日には、3月11日に発生した「東日本大震災」へ

の支援に向けて、議員から決議案が追加議案として提出され、全員賛成で可決しました。

## 東日本大震災への支援について

川根本町では、東日本大震災による被災地への支援をしました。

### 義援金

本庁、総合支所、文化会館へ募金箱を設置。75万4千127円を日本赤十字社へ3月31日に送金しました。

また、中と本中でも生徒達が募金活動を行い、集まった義援金（2校計22万3千26円）を送金しました。

### 人的支援

4月28日現在で町保健師1名（県派遣団）、町職員1名（ボランティア）を派遣。5月12、20日迄、町職員1名の派遣などを予定しています。

### 支援物資

町から毛布1千枚、簡易トイレ1千個、非常食5千食を3月中に発送。また、町民から届けられた下着、靴下など1千278点（食料品含む）を4月15日に石巻市へ輸送しました。

福島県いわき市へは、川根

茶業協同組合から茶葉40Kg（写真）、岩手県大槌町へは、川根茶業組合から茶葉17Kg、町から茶葉80Kg、町内茶商茶業センターから急須50個、町民から茶碗約700個を提供しました。









鈴木多津枝 議員

問

国保値上げ回避、特養待機の不安解消を  
救急車予備車の配置、地名保育園再開を  
若者・高齢者住宅団地の建設を  
町も「核兵器廃絶・平和のまち宣言」を

**質問** 多くの市町が行っている一般会計繰入で、国保値上げ回避を。  
**町長** 法定外繰入は基金が保険給付費の1割以下の自治体が大半。当町は基金が39.1%あり、医療費の支払いに充てながら保険税の安定した運営に活用していきたい。一般会計は国保以外の町民も負担するので慎重な対応が必要で、国保税を見直すのが普通。質問の国保税が所得の1割を超す世帯は68.3%、低所得者への軽減は7割5割2割軽減が、失業者には7割軽減が、病気等で納付困難な世帯には納付猶予や減免相談を随時行い、広報等で周知を図っている。

**質問** 特養『あかひしの郷』の待機状況と住民の不安解消を。  
**町長** 当町の特養待機者は22年1月で65人。内すく必要な人は8人。



2カ所目開設の小規模多機能介護ホーム「まつおか本川根」

65才以上の状況は、一人暮らし441世帯、高齢者のみ498世帯、子と2人暮らし1千260世帯等で、地域包括支援センター職員5人で見守り訪問を行い、必要なサービスにつなげている。特養整備は現在、地域密着型の小規模多機能施設の指定を行ったところで、他の介護事業所間のバランスや、県との情報交換が必要で今年度策定する次期介護保険事業計画で検討したい。

**質問** 日本川根へ救急車の予備車配備を。  
**町長** 22年度の救急出動350件中、搬送した311人の内訳は、軽症135人、中等症123人、重症54人。島田市の応援体制や重症者はドクターヘリが即対応している。以前同様に予備車を置くと高規格車購入費が3千500万円、職員体制は14人を21人へ、救命救急士も3人を6人にする必要がある。

**質問** 若者住宅で子供が増えている地名保育園再開を。定住条件が揃っている徳山等に、高齢者・若者住宅団地の建設を。  
**町長** 当町の5年間の平均出生数は34人、合計特殊出生率は1.17。20年度の全国平均1.37、県平均1.44より低い。乳幼児213人中、通園児は131人で、保育園3園の定数140人を割っている。地名地区では確かに子供が増えているが、町全体で見ると再開する状況ではない。現在、若者住宅建設計画は無いが、23年度に策定する町営住宅の長寿命化計画で、将来的な住宅需要を把握し、検討したい。



休園中の地名保育園

**質問** 議会で決議した「核兵器廃絶・平和のまち宣言」を町の宣言として平和活動を。  
**町長** 現在、当町も含め県内25市町が同様の宣言をし、ホームページ掲載や懸垂幕で掲示、各種平和記念式典への参加・派遣・補助金交付など取り組んでおり、当町も議会の議決内容を

を遵守し、平和なまちを実現したい。全国的な組織である日本非核宣言自治体協議会への加入も検討したい。

答

軽減・減免相談、見守り訪問充実で対応  
救急予備車も保育園再開も必要度低く財政負担大  
町営住宅の長寿命化計画策定で将来需要を検討  
議会の決議を遵守し平和のまちづくりを進める



太田 侑孝 議員

問

22年度中の剰余金は  
23年度にどう活かされているのか!  
自治体振興交付金事業の推進について  
東日本大震災への緊急支援について

**質問** 22年度中の剰余金の政策事業への活用について伺う。  
**町長** 基本的には住民生活向上のための施策、特に補助事業では対応できない事業への活用をしていきたいと考えています。  
22年度12月補正では地区要望に対応した生活道路の維持修繕事業、登山道の安全確保対策事業や、地域自治振興のための交付金事業の創設を行いました。  
なお残額は23年度以降の事業の実施に備えて財政調整基金に積み立てる予算計上をしました。

**質問** 剰余金は23年度事業に継続・活用されるか伺う。  
**町長** 23年度予算は56億4千500万円の前年度と比べ、4億6千万円の増額となっています。大規模な事業はありませんが、地域の要望を踏まえ、生活環境の向上を重点に補助事業では対応できない事業や、景気対策事業の継続による地域の活性化を目指して予算編成をしました。  
主な事業としては、町道の維持改良昨年度の9路線から17路線に、林道改良は6路線から10路線に、キャンプ場等の観光施設維持整備、町内集会所耐震事業、集会所の改修などのコミュニティ施設整備や地区内の防火用水修繕事業など先送りしていた事業を予算計上しております。



イチヤマ公園の緑肥ナギナタガヤ(昭和4月上旬)

**質問** 自治交付金事業と概に区から提出されている要望書との関連性について伺う。  
**副町長** 補正予算で22年度分の事業と23年度の未確定部分の事業費を残して4千万円を減額して、23年度計上分に未確定9地区分の約1千万円を合わせて5千88万8千円を計上しています。  
**質問** 集会所修繕と耐震工事の重複については当然調整しながら進めます。24年度にずれ込む場合は繰越明許的な取り扱いも考慮する。  
**質問** 予定外の要望として、農林業センターで数種類の緑肥(牧草類)の種まき試験を実施します。放棄茶園の抜根・整地後の農地保全に有効と期待します。今後予算付して成功させてください。東日本大震災への対応について伺いたい。  
**町長** 土曜日から緊急会議を開き対応を協議し、救済資材として即時に

答

住民生活向上の為の施策、特に補助事業では  
対応できない事業への活用をしていきたい  
地域でいろいろ考えて有効な交付金の活用を!  
毛布1,000枚、簡易トイレ1,000セット、非常食も!

毛布千枚、簡易トイレを千セット、非常食5千食を発送した。追加支援策を検討中であり  
ます。





森 照信 議員

問

観光交流の資源の掘り起こしは  
露天風呂をどう位置づけるか  
製材、加工施設が必要では

**質問** 観光振興について。  
**町長** 観光産業は、本町の基幹産業であるお茶や林業とともに、地域の活性化を図る重要な柱であるというふう  
**質問** に思っている。  
**質問** 各地域には、まだ活用されていない観光交流の資源が眠っているのではないか。  
**町長** 観光農園をやるうとしていたり、木工・工芸などの技を持つて  
**質問** る方など多くの人材がいると思われ、この方たちを掘り起こし、ネットワークを図りエコツーリズムと連携をさせ観光事業を推進し、地域の活性化を図っていききたい。  
**質問** 資源を掘り起こすには専門の職員とか関係者が必要ではないか。  
**町長** 専門職を雇うには協議が必要。いろんな形で派遣していただ



寸又峡美女づくりの湯

くための必要なものは考慮してもいい。  
**質問** 寸又峡再生計画のもと露天風呂を生かした地域活性化について。  
**町長** 現在の露天風呂は老朽化が進んでおり過疎地域自立促進計画にもあげられている。観光振興という中で、温泉が占める部分というのはかなり大きいというふう  
**質問** に思っている。寸又峡を中心としていくつかの温泉があり、温泉を積極的に利活用していくことは、大変

大事なことであると思  
**質問** っている。  
**質問** 温泉を有効に活用していくため、地域で職員を交え検討していく中で露天風呂の構想が出てきている。美女づくりの湯・秘湯の温泉としての寸又峡の再生は非常に大切である。その中で露天風呂をどう位置づけるか、空き店舗・空き旅館、それらの活用を含め再生を考えていく必要がある。  
**質問** 森林の取り組みについて。  
**町長** FSC認証材及び木材の生産を拡大させるために、林家や森林組合との協議を進めてきているが成果は上がっていない。  
**質問** 認証材の流通については、既存の出荷先及び県森連天竜営業所への出荷を通して直送販路を開拓していく。

**質問** 原木の直送主体ではなく、製材加工施設については。  
**町長** 素材だけ出しているのでは付加価値も少ない。できるだけ地域にお金を落とすことを考えると製材加工施設、そういうものが必要になってくる。なんとかそういう加工までこの地域でできるとい  
**質問** うことが本来望むべき姿だと思う。地域の素材を生かした建築、利活用を考えている動きに対しサポートするなど、地域で素材生産業者・建築工務店など、



町内工務店が製作した木製ベンチ  
(写真はB&G海洋センター)

答

人材を含め掘り起こし活性化を図る  
観光振興において温泉の占める部分は大きい  
本来望むべき姿である

関係者の方々が生きられるような方法を何とか講じていければと思う。



原田 全修 議員

**当町の人口減少率は5年間で県内トップの10.2%。  
地域振興にどのように取り組むか  
観光政策や若者を引きつける上で費用も低額な  
無線ブロードバンド導入の選択肢がある**

**問**

**質問** 今3月議会では町長の平成23年度施政方針が示されなかつたため、私の一般質問で町長の所信をお伺いしたい。今回の国勢調査の結果、5年前に比べ人口減少率は県内トップの10.2%。この状況をどのように見るか。

**町長** 人口減少の要因は死亡数が大きく出生数を上回り、重ねて転出者が転入者を大きく上回っているということ。若い人達にこの町に住んで頂くための魅力のある環境を整えていく必要を感じている。

**質問** 急速な人口減少の改善に向けて当町の産業振興の基盤強化にどのように取り組もうしているのか。

**町長** 茶業の活性化については、可能な限り農業経営の若返りを進めるとともに年間を通じて安定した雇用確保が必要である。森林林

業については国においても森林林業再生プランにより木材自給率50%を目指した施策展開が始まる。観光産業を振興するには、空港、南アルプスを結ぶ大井川流域周遊観光ルートを目指して広域的な連携が求められる。

**質問** 静岡空港、第2東名I.C.といった拠点をうまく使った隣接市町との観光連携が必要だと思う。観光政策を進める観点からのブロードバンド基盤整備への取り組みが必要だが、この場合、LTEやワイマックスといった新しいワイヤレスブロードバンドを導入するという選択肢が必要。これは、若者定住、また都市居住の経験をした若者のUターンを促すためにも必要なこと。事業者の誘致を行い、基盤整備への助成をするという行政体として

の役割があっても良いではないか。

**町長** 必ずしも町が提案している光ケーブルに固執するわけではなく、最もこの地域にとつて良いブロードバンド整備事業というのは、どういったものなのか、幾つかの提案の中から判断して皆さんで決めていけば良いのではないかと思っている。

**質問** 防霜ファン、この設備更新については600haの当町では概算12億円の経費が必要。また、森林林業木材産業



の基盤整備としての製材工場を建設しようとする6億とか7億円という投資が必要になる。当町は高齢化率が40%を超えた。24時間の見守り体制が可能な「訪問看護ステーション」の建設も喫緊の課題である。

**町長** 今後の課題としてはそういうことも考えていく必要があるのかなと思う。

**質問** ブロードバンド整備事業の原案の16.6億円は初期投資であつてランニングコストとしては年間6〜7千万円の運営管理費の他、設備更新をするための経費、減価償却費は年間1億円位の用意が必要ということになり、前述したような産業振興、地域振興へ回すような資金は出てこないという危険性があるということを指摘しておきたい。

**若い人達がこの町に住みたくなる  
魅力のある環境を整えていく必要を感じている  
光ケーブルに固執しない。幾つかの提案の中から  
判断し皆さんで決めれば良いと思っている**

**答**

**町長** 原田議員のご質問の趣旨はよく理解できるので、そういうことも含めて考えさせて頂きたい。



中澤 智義 議員

## 問 本町温泉地の課題を問う

**【質問】** 寸又峡温泉の課題。温泉街の環境整備と、大型バス乗り入れ不能箇所の改善を問う。

**【町長】** 寸又峡温泉の廃屋や閉店した建物です。50周年事業の提案の中で、利用できればと思いますが、それぞれ地権者や所有者が使用していたださいという意向があれば、環境整備は容易にできますが、そこが問題かと思っております。

**【建設課長】** 寸又峡の大型バスの乗り入れですが、通行不能箇所が3箇所あり、昨年7月島田土木事務所、大鉄、大間区長、建設課、測量業者によりまして話し合いを持ちました。意見要望等を踏まえて、奥泉寸又峡線道路整備長期計画の作成が進行中であります。優先度の高い箇所から計画的に工事が進めて行われると期待しています。

**【質問】** 先般、翠紅苑で寸又峡温泉50周年記念の再生事業という勉強会に、行政の方も出席していただきましたが、提案を受けてどのように感じたか伺う。

**【商工観光課長】** 私は計画を聞く方に回ったわけですが、地域の人達が自ら考え、活性化に向けてやっていこうというので、その意気込みを期待するところでは。

**【質問】** 接阻峡温泉の課題ですが、地権者とのトラブルを伺う。

**【商工観光課長】** 現在、千頭温泉に接阻の温泉を運搬しています。土地所有者から、目的外使用で違法ではないかと文書がありました。弁護士と相談しましたが、特に問題はないと回答を得ています。

**【質問】** 弁護士に相談したから構わないと言っている片づけるべきではないかと私は思う。礼を尽くして誠意を見せておくべきと思うが町長はどのように考えるか。

**【町長】** 温泉権は町が持つています。土地は所有権で地主が持つており、土地の立ち入りができなく、貸借期間の更新もできない状況です。弁護士と相談しながら円満な解決に向けて、進めていきたいと考えています。



接阻峡温泉会館

**【質問】** 千頭温泉の課題だが、今後誘客活動や地域の活性化に、どう取り組むか伺う。

**【町長】** 利用者の方々は何度か説明会を行い、話し合いの機会を持ちました。地域の活性化に向けて協議していきたいと意見も出され、現在町として組合等の設立に向けて支援を行っているところでは。

**【質問】** 組合を設立して活動を支援するということは、組合活動に助成金や補助金をという意味も含んでいるのか。

**【町長】** 今現在お金を出していくというところは、特に考えていません。何かイベント等を企画した場合、観光協会からの支援の方法があると思います。今ほか

の組合と同じ扱いと考えています。

## 答

- 寸又峡温泉：環境整備には、所有者の意向次第
- 接阻峡温泉：弁護士と相談して進める
- 千頭温泉：組合活動に期待する





小藪侃一郎 議員

中国竜泉市友好推進事業のその後は  
中国等茶市場開拓調査事業の頓挫の責任は  
23年度予算編成の意気込みを伺う  
同報無線戸別受信器と地区備蓄倉庫の対応

問

**質問** 中国竜泉市との友好都市推進事業のその後の展開はあったのかどうか伺う。  
**町長** 5月に竜泉市長自身が訪問予定でしたが、今回発生した東北関東大地震により延期したいとのこと。今後日程を調整したい。  
**質問** まさに砂上の楼閣事業となった中国等川根茶市場開拓調査・研究事業の町長の責任の対応を伺う。

**町長** 議員の皆様にも手数をかけ、誠に申し訳なかった。3月補正で当初の1千万円は減額し、新たに国内に向けて市場開発調査推進事業として、全国にアピールする。  
**質問** 冒頭挨拶で地域の元気再生 安心して暮らせる安全安心のまちづくり 地域住民が主役となって取り組めるまちづくりを掲げている。予算編成の意

気込みと事業予算に載せた期待を伺う。  
**町長** 大規模な事業はないが、3本の柱を核とした町づくりを目指し予算を編成した。地域資源や人材をいかに活用できるかが大切である。住宅リフォーム推進事業、プレミアム商品券発行などで地域内消費の活性化や静岡空港から南アルプスまでの大井川流域が一体となった施策の展開や恵まれた資源を生かした情報発信により元気再生を目指す。地震や集中豪雨などの大災害に備え、集会所の耐震補強、防油堤の設置助成の創設、各種予防接種への助成、一人暮らし老人の救急キット整備などや町道など生活環境整備や情報基盤整備についても意見をいただきながら進める予定である。地域自治会の活動拠点の集



会所集落現場  
藤川

会所の施設整備や地域自治振興事業による地域づくりを支援します。22年度に積み立てた貴重な基金を有効に活用していく。  
**質問** 緊急総合経済対策等の交付金事業など22年度3月補正と23年度予算を合わせた投資的事業費の内、伸びた大部分が建設、建築分野のもので、商工費や農業費の伸び率は低く不均衡な予算編成ではないか。  
**企画課長** 国・県からの情報提供ではハード・ソフト事業ともに交付対象とされるとあつたが、1月4日に、先行して提出する必要から地元の企業等の受注に資する建設事業等を計上するに至つた。

**質問** 例えていえば、観光に関しては敬老町民に町内民宿・ホテルの割引クーポン券や農業では肥料や重油等燃料費の助成とか現場に投資する知恵もあつたと思う。  
**町長** 観光振興と産業振興については側面的また方向性を議論する部分も必要との思いと、プランづくりの考え等もあり、後回しになつた部分もある。しかし今の状況を考えると緊急性もある、即効性のある割引クーポンの話でありましたけれど、場合によっては皆様の理解を得て施策を上乗せして講じていく必要があるかと思う。  
**質問** 今回の災害は地震・津波・原発事故とトリプルパンチで社会的、経済的に想像できないくらい被害は大きい。最善を望み、最悪を考えるシミュレーション等の予算の対応・対策を練る必要がある。  
**総務課長** 今対応の最中ですが、交付税等歳入も不確定要素が挙げられていますが、それに対応しながら取り組んでいく考えである。

今後良好な友好関係を築いていくため  
信頼関係を高める

誠に申し訳ないと思う  
今後は国内市場に向けて努める  
3本の柱で住民の意見や情報を公開して展開する  
旧中川根側に未設置であり検討していきたいと思う

答



山本 信之 議員

問

市場開発調査・推進事業について  
 22年度の事業と違う点は何か  
 この事業により得られる効果は何か  
 情報通信基盤整備事業について  
 検討委員会の進捗状況  
 防災関係はどのように関連付けて整備

**質問** 平成22年度補正予算において、市場開発調査研究事業の1千万円を全額減額し、新たに市場開発調査推進事業として310万が計上され、平成23年度にも1千200万円余の予算が計上されています。一体どういった違いがあるのか伺いたいと思います。

**町長** 中国という、今まさに高度成長を続ける市場は、大きな販路拡大のターゲットであると考えたわけですが、今回関係団体も一体となって、今現在抱えている問題に取り組み、事業内容を検討し、町全体で地域の活性化を目指す。そういう方向で予算計上させていただいたということが大きな違いであります。**質問** 平成22年度に入ってからこの1年間、お茶を中心とした販路の拡大を目指した市場開発



第7回情報通信検討委員会の様子

事業の執行を、町民の皆さんが期待したところです。**町長** 川根茶、川根本町をPRするため、茶関係者、観光関係者、商工関係者の皆さんすべての方に活用していただき、川根茶、川根本町を町外に発信していこうと考えております。これは宿泊施設や観光施設で品評会等のお茶を呈茶し、またお茶の入れ方を観光客の皆さんに体験してもらい、町内でもお茶をすすむというものであります。**質問** 地域情報化を総合的に推進するため、川根本町情報通信基盤整備事業推進検討委員会が設置されました。この委員会で出されている貴重な御意見を今後の事業にどう活かしていくのか伺います。

**町長** 町としましてはこの委員会で取りまとめられた御意見を最大限尊重し、今後の検討に活かしていきたいと考えております。町では検討委員会からの報告書とともに、議論の中で出された御意見も参考にして、情報通信基盤整備事業を再検討していきたいと考えております。最終的には町事業への加入意向を含めた調査を行いたいと思っております。**質問** 防災関係はどのように関連付けて整備されるのか、今回の地震は、最大級の巨大地震であり、既に皆様御承知のことと思えます。私たちも東海地震という巨大地震にいつ襲われるともしれない地域に住んでおりますので、とても人ごととは思えません。今回の災害についてどのように対応していくのか、質問をさせていただきます。

**町長** 東日本大震災が未曾有の大災害ということで、大変な問題だと思っております。緊急に課長会議を開き、支援については、毛布1千枚と簡易トイレセットを1千セットをとりあえず緊急支援ということで送っております。非常食を5千食、今後の人的支援についても検討していきたいと思っております。町の行事等への対応については、ファミリーマラソンと茶業者大会は中止及び延期ということで対応いたしました。いろいろあるかと思いますが、自粛ということでも考えております。

答

町全体で地域の活性化を目指す  
 川根茶、川根本町を町外に発信しております  
 委員会の取りまとめを最大限尊重していきます

# 議 会 日 誌

## 1月

- 9日 消防団出初式・成人式・商工会講演会・賀詞交歓会
- 14日 議運・全員協議会・第2回情報通信基盤整備事業推進検討委員会
- 20日 温泉審議会
- 21日 第13回まちづくり基本条例策定委員会
- 25日 例月出納検査・第5回バス路線対策委員会
- 26日 社会福祉大会



平成23年成人式(新成人による赤石太鼓演奏)

## 2月



音の彫刻コンクール2011最優秀賞「からり ころり」

- 1日 議運・全員協議会・ブロードバンド講演会
- 3日 「音の彫刻コンクール2011」第二次審査
- 13日 露天風呂に関する勉強会
- 17日 川根地域広域施設組合定例議会  
第2回国保運営協議会
- 22日 第5回情報通信基盤整備事業推進検討委員会  
第14回まちづくり基本条例策定委員会  
農林センター運営委員会
- 26日 議員と語る会(かわね四季の会)

## 3月

- 2日 第一回議会定例会(初日)
- 4日・7日～11日 予算特別委員会, 現地調査
- 6日 川根茶羊かんでギネスに挑戦(中川根中)
- 16日 第一回議会定例会(最終日)
- 17日～18日 卒業式(各小中学校)
- 22日 第6回バス路線対策委員会・災害ボランティア講演会
- 24日 第7回情報通信基盤整備事業推進検討委員会



川根茶羊かんでギネスに挑戦(中川根中学校にて)

## 6月の議会 日程

初日：6月22日(水)  
最終日：6月29日(水)  
両日とも午前9時開会  
議会本会議はどなたでも傍聴できます。  
ぜひ傍聴にお越しください。

東日本大震災により被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興と皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。

このたびの地震の発生から既に1カ月、いまだに正確に被災者把握ができない未曾有の損失。今なお続く余震、福島原発事故については国際評価尺度で最悪のレベルに引き上げられ、内外的政治不信と風評被害。日本の経済及び農業・漁業関係の被害は甚大で復旧・復興には時間がかかる。確かに想定外なのか、対応には問題はなかったのか、非常事態・事故が重大であればあるほど説明は丁寧にして正しいデータを示し、

### 編集後書

対応について明確にすべきで、迅速に尽くす事が重要ではないのか。

日本人は世間体を気にする国民が多く、哀悼・自粛は尊重するが、過度の自粛は経済的な二次被害を引き起こすことになり、意気消沈してはいけません。日本経済復興は見えてこない。皆が頑張っている、元氣なものが頑張らなければ復興には繋がらない。

結びに、当町の多くの皆様方にご支援頂きましたこと感謝致します。

(A・N)

### 編集委員

(第二常任委員会)  
委員長 中田 隆幸  
副委員長 小數侃 一郎  
委員 高畑 雅一  
原田 全修  
太田 侑孝  
中野 暉